



1 市本庁舎／2 市の花「ばら」／3 ばら接ぎ木出前講座／4 公共端末
5 情報化の推進／6 緑町公園「ばら花壇」／7 キラリやまの(JA店舗跡)

第5章 市民とともにつくる自立したまち

第5章では、この計画を推進するために必要な協働、行財政改革、情報化の推進などに関する具体的な取組を示します。

本市では、これまで財政の健全化と効率的な行政運営を行うため、行財政改革を進めてきていますが、人口減少社会の到来や国の財政支援の縮小など、地方を取り巻く財政環境は厳しさを増しています。こうした中、多様化する市民ニーズにこたえるため、地域の特徴を活かしたまちづくりを進めてきました。引き続き、経営的視点での行政活動や市民・地域の団体などとのパートナーシップ精神の下、中国・四国地方の拠点都市にふさわしい自立したまちづくりを進めていく必要があります。

これまでの主な取組に対する市民の評価とニーズ

これまでの主な取組内容	良くなったと思う人の割合	満足度 →	重要度 →
他の市町村との交流の推進(外国との交流を含む) ・広域交流の推進、図書館・文化施設等の広域的利用の検討など		→	→
情報通信基盤の整備 ・地域公共ネットワークの整備、公共施設の案内・予約システムの整備など		→	→

第5章の施策体系

都市内分権の推進と市民と行政との協働による自立した都市の確立

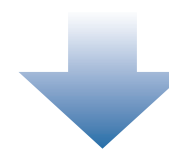
- 協働の推進
- 都市内分権の推進
- 総合的な情報公開の充実

自立を持続する健全な行財政運営の推進

- 行財政改革の推進
- 情報化の推進

中国・四国地方の拠点都市にふさわしい広域行政の推進

- 中国・四国地方の拠点都市へ向けた取組の推進



福山のキラリ

協働のまちづくり

地域の特徴を活かしたまちづくりとして、市民提案型の事業の実施など、協働のまちづくりを進めています。

ここがキラリ

健全な行財政運営

給与の適正化や定員管理、事務事業の見直しなど、行財政改革を徹底し、健全な行財政運営に努めています。

健全な行政運営
組織・機構 定員適正化
事務改善 ITの推進 行政評価

ここがキラリ

自立したまちづくり

福山市では、地域ごとの特徴を活かしたまちづくりを行っています。

そのため、各小学校区に設置している公民館や、市民センターなどを活用して、地域の課題は地域が中心となって解決できる自主・自立のまちづくりを進めていきます。

これからキラリ

第1項

協働の推進



目 標	地域の特性を活かした魅力あふれるまち	
数 値 目 標	まちづくりに関心がある市民の割合 ^{※126}	2005年度 46.5% 2011年度 75.0%
	市内NPO法人数	2006年度 52団体 2011年度 70団体

自立したまちづくり

自立したまちを実現するためには、「協働は様々な分野において、まちづくりの基本である」といった理解の下に、市民と行政がお互いに目的を共有し、市民ニーズを掘り起こし、ともに考え、解決していくことが必要です。

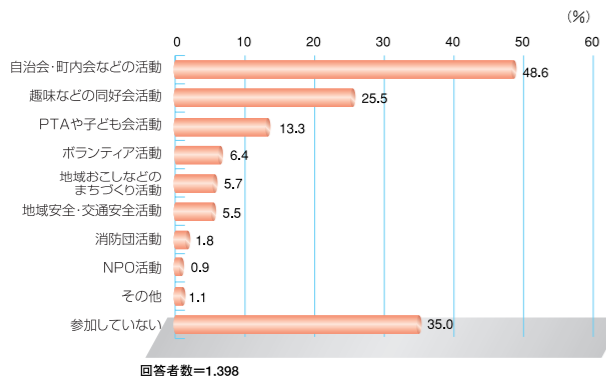
自治意識の高まり

本市では、自治会などによる地域での防災や福祉、環境などへの積極的な取組や、ボランティア・NPO、企業などによる社会貢献活動により、自治意識が高まっています。しかし、自治会加入率の低下など住民同士の連帯感が薄れているといった課題があります。

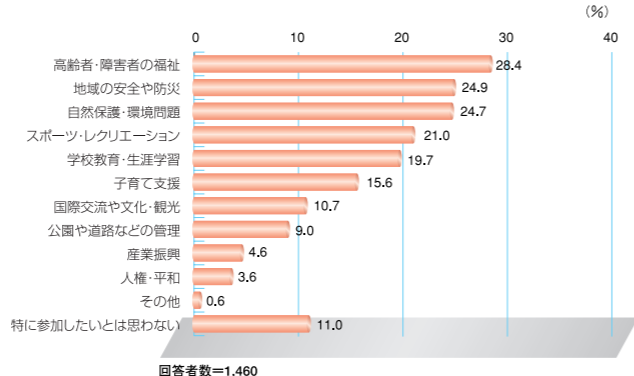
みんなが活動・参加しやすいシステムづくり

市民満足度の高い、市民が主役のまちづくりのため、市民憲章の理念の下、地域のことは地域で解決できる環境づくりが必要です。また、今後、団塊の世代の知識や経験を活かした地域づくりにも必要です。

市民が参加している地域活動



市民が参加したいまちづくりの内容



(資料) 福山市「第四次福山市総合計画策定のための基礎調査報告書」

126 まちづくりに関心がある市民の割合:「福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート」による。

「目標」を達成するための取組

情報の共有

協働のまちづくりを進めるため、市政や地域に関する多くの情報の提供や市民の意見・意識を把握するなど、情報の共有に努めます。

- まちづくりに関する情報の提供・収集
- まちづくり出前講座^{※127}などの開催

人材づくり・意識づくり

地域活動や市民活動を担うリーダーの発掘・人材育成などに積極的に取り組んでいくとともに、地域住民が自らのまちは自らつくるという意識を育てます。

- 地域における人材育成
- まちづくり講演会・講座の開催
- 団塊の世代のまちづくりへの参加促進

協働のシステムづくりと評価・公開

地域住民が主体となって活動しやすい環境づくりを行います。また、協働に関する事業の適正な評価・公開が行われるように努めます。

- 地域まちづくりへの財政的支援
- 協働に関する事業の評価・公開



道三川清掃



市民として



お互いを認め合う中で、私たちがまちづくりの主役である自覚をもちましょう。

(協働の花)

福山市を象徴する「ばら」の花をモチーフに、人々が集いともに支え合い、より良いまちづくりに参加する様子をデザインしたものです。

127 まちづくり出前講座:行政職員やボランティア・NPO等が直接学習会の場に出向き、行政情報や専門的な情報を提供し、これからのまちづくりをともに考えていく講座のこと。

第2項

都市内分権の推進



目 標	市民がコミュニティ活動に積極的に参加しているまち	
数 値 目 標	まちづくり出前講座数	2006年度 36講座
		2011年度 80講座
	自治会(町内会)加入率	2005年度 72.3%
		2011年度 75.0%

自主・自立のまちづくりの高まり

地方分権の進展により、これまで以上に市民が主体的に地域特性に合った自立したまちづくりを進めることが可能です。そのため、地域の声を行政に反映する仕組みづくりやまちづくりへの市民参加の機会を充実することが必要です。

市民に身近な行政である必要性の高まり

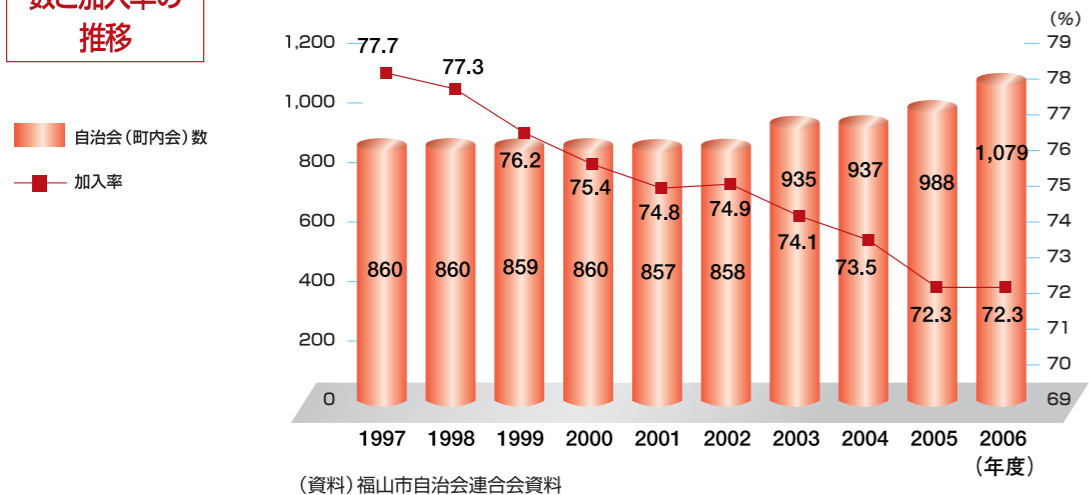
市民と行政の距離を近付けるとともに、地域の課題は地域で主体的に解決できるよう、地域の特徴を活かすための権限を、市民に身近な支所などに位置付ける必要があります。

自治会(町内会)加入率の低下

協働で取り組む範囲を広げることにより、市民満足度の高い自立したまちづくりを進めることが大切です。しかし、自治会(町内会)加入率の低下などの課題が生じており、主体的な活動を支援するための取組が必要です。

取り巻く環境(現状と課題)

自治会(町内会)数と加入率の推移



「目標」を達成するための取組

自主・自立のまちづくり

地域の声を反映する仕組みや地域活動に関する相談機能を充実し、自主・自立のまちづくりに向けた支援体制を整備します。

- 地域活動のための相談機能の充実
- 地域づくりの推進

地域自治力の強化

コミュニティ活動の場の確保や、主体的な活動を支援するために、市民センターなどの機能を充実するとともに、支所などへの分権を進めます。

- 市民センター等の機能の整備・充実
- 支所などへの分権の推進

人材づくり・意識づくり【再掲】(5-1-1)

地域活動や市民活動を担うリーダーの発掘・人材育成などに積極的に取り組んでいくとともに、地域住民が自らのまちは自らつくるという意識を育てます。

- 地域における人材育成
- まちづくり講演会・講座の開催
- 団塊の世代のまちづくりへの参加促進



(仮称) 福山市西部市民センター完成予想図



沼隈町の道づくり

市民として



私たちの住んでいるまちの地域活動に参加しましょう。

第3項

総合的な情報公開の充実



目 標	政策や行政サービス情報が分かりやすく、迅速かつ的確に発信されるまち	
数 値 目 標	市ホームページ アクセス件数	2005年度 1,362,000件 ↓ 2011年度 2,000,000件
	市政情報室の資料数	2006年度 2,500件 ↓ 2011年度 3,000件

「目標」を達成するための取組

多様な情報提供の充実や情報公開の推進

市ホームページ, 広報紙, テレビなどを通じて, 市政や行政サービスを受けるために必要な情報を積極的, 効果的に発信します。また, 公文書の開示を始め, 総合的な情報公開を充実します。

- 広報の充実
- 市ホームページの充実
- 情報公開の総合的な推進



福山市ホームページ



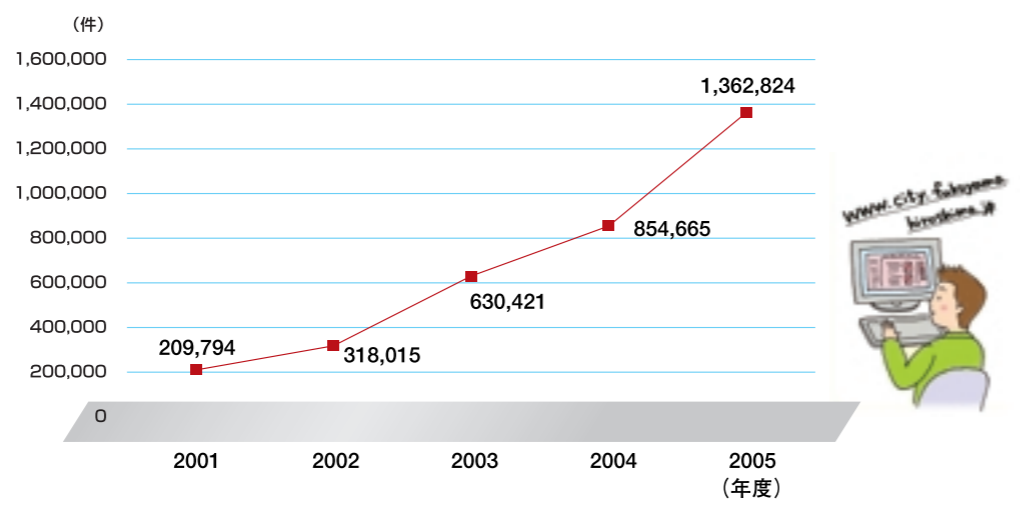
広報ふくやま

取り巻く環境(現状と課題)

市が保有する情報の公開・開示の推進
市が保有する情報は市民との共有資産との考え方から, 個人情報の保護に配慮しつつ, 情報公開を推進し, 透明で開かれた行政の実現に努めています。

素早く・正確・効果的な情報提供の必要性の増大
市民の視点から協働のまちづくりを進めるためには, 市政に関する情報を始め市民生活に関連する情報を素早く, 正確かつ効果的に提供していくことが求められています。

市ホームページアクセス件数の推移



(資料) 福山市資料



市政や行政サービスに関心を持ちましょう。